

第2回四国環境適応講習会



インフォメーションコース

- テーマ 『環境適応』
～総論と障害像、各コースの特徴と紹介～
- 日時 平成30年5月26日（土）
13：00～18：00（12：15～ 受付開始）
- 場所 HITO病院 3階 大会議室
- 定員 50人（先着順）
- 対象 理学療法士 作業療法士 言語聴覚士
- 受講費 3,000円（当日、徴収いたします）
- プログラム
 - 13：00～13：40 環境適応 総論・障害像について
 - 13：50～14：40 Aコース 平面移動空間への適応
 - 14：40～15：40 Cコース 洗体・更衣
 - 15：50～16：40 Dコース 食事
 - 16：50～17：40 Eコース Activity
 - 17：45～18：00 質疑応答
 - 18：00～ 閉会挨拶

講師

『総論・障害像について』
高須賀 秀年 (作業療法士)
(株) ライフネット
環境適応講習会 四国代表

コースオブザーバー

箭野 豊 (作業療法士) 土佐リハビリテーションカレッジ
藤本 弾 (作業療法士) 総合病院 回生病院
横内 俊弘 (理学療法士) 介護老人保健施設 アイリス

A. 『平面移動空間への適応』

河合 恵明 (理学療法士)
(株) ライフネット

C. 『洗体・更衣』

平野 智彦 (作業療法士)
松山リハビリテーション病院

コースプレゼンター

D. 『食事』

和田 美穂子 (言語聴覚士)
HITO病院

E. 『Activity』

山田 太一 (作業療法士)
HITO病院

「環境適応講習会」について

四国環境適応講習会

この講習会では、可能な限り現在の臨床的課題に即したテーマを取り上げ、セラピストの労働時間や職場環境などを考慮した治療場面を提案することを目標にしています。(一部省略)片麻痺者が抱える機能的課題を出来る限り具体的に列挙して、それぞれに対応した経験をそのままの形で紹介するような構成を目指しています。ただし、機能的課題遂行には正常な知覚・運動統合の過程が不可欠であることから、個体、環境、課題間の相互関係に着目し・A神経生理をはじめ、生態心理学、認知科学、発達学、文化人類学など様々な分野の知見を採用して、それらの臨床経験を解釈しつつ応用的展開の可能性を探っています。(一部省略)紹介する技術の大半は、それを有効に実践するまでの一定のトレーニングを必要としています。しかし、講習会の日程は短期間で十分なトレーニングは困難です。長期間の講習会開催は容易には難しく、個人的な研鑽に依存しているのが現状であります。ですから、人によっては同じテーマを継続し受講する方や、同一年次に複数のテーマに参加される方もありますが、それぞれご本人の判断にお任せしております。

リハビリテーション医療をめぐる環境はめまぐるしく変化しています。その中で個人的な障害状況や回復の可能性とは無関係に早期の退院が迫られ継続した十分な医療を受けづらい環境ができています。一方はセラピストにとっても、一個の医療技術者として自らの医療行為に確信をもち研鑽に励む環境は確実に狭まりつつあると考えます。そのような状況であるからこそ自覚あるセラピスト自らの技術を点検し充実させ後輩に引き継ぐ必要があります。高まっているものと考え、講習会という形で呼びかけております。

環境適応講習会ホームページ <http://www.kanteki.net> より

インフォメーションコース 開催にあたって

「環境適応講習会」は、A「平面・移動空間への適応」、B「症例検討」、C「洗体・更衣」、D「食事」、E「Activity」の5コースで開催され、各コースの講習期間は2～3日のスケジュールとなっています。基礎コースを充実させることを目的に、昨年度より各コースの準備的意味を合わせたインフォメーションコースを開催しています。時間の可能な範囲で「環境適応」の各視点を紹介する内容となっています。

●お申し込み

件名を『四国環境適応講習会ｲﾝﾌｫｰﾐｬｰｼｮﾝｽﾞ申込み』として、
『skanteki.info@gmail.com』へ以下の項目を記載し
送信して下さい

- ①名前 ②所属 ③メールアドレス
- ④緊急連絡先電話番号 ⑤職種
- ⑥臨床経験年数 ⑦環境適応講習会受講歴

●お問い合わせ先



お問い合わせは、上記メールアドレスにて、
「四国環境適応講習会ｲﾝﾌｫｰﾐｬｰｼｮﾝｽﾞ
愛媛会場 事務局 大政」
宛へお送りください

●交通アクセス



〒799-0121
愛媛県四国中央市上分町
788番地1
TEL : 0896-59-5154

申込締切 平成30年4月30日 (月)